第4回こどもの権利推進リーダー会議の実施結果について

実施日 令和8年7月16日(木)18時から19時30分まで

会場 文京区民センター　会議室3−A

1 参加者

こどもの権利推進リーダーとして、22人の中高生が参加した。参加者の内訳は次のとおり。

	中学1年生	中学2年生	中学3年生	高校1年生	高校2年生	高校3年生	合計
人数	1人	1人	3人	7人	7人	3人	22人
割合	4.5%	4.5%	13.6%	31.9%	31.9%	13.6%	100%

2 内容

（1）第3回の振り返り

（2）動画・すごろくの制作内容について意見交換

（3）パンフレットのデザインや掲載内容について話し合おう

（4）ノベルティグッズのデザイン・キャッチコピーについて

3 当日の様子

第3回から引き続き集中して取り組むリーダー達の姿が見受けられた。
前回話し合ったことや考えたことを踏まえ、各グループで積極的な意見交換が行われていた。
付箋を活用しながらアイデアを出し合い、難易度の高い課題にも意欲的に取り組んでいた。
その結果、中高生ならではの豊かな発想や感性が生かされたシートが完成したことが
印象的であった。



第3回の振り返り



動画・すごろくについて意見交換



書出し・分類



発表

④ 動画・すごろくについての意見交換

今後作成される、動画・すごろくについて意見交換がされた。
それぞれ、「ダイジェスト動画班」「小学生向け動画班」「中高生・大人向け動画班」「すごろく班」に分かれ、
それぞれの視点から積極的に話し合いが進められていた。

「啓発すごろく」についての意見交換

1-1　なんでやねんすごろくを思い出そう
●「なんでやねん」と皆言わなかった

1-2　どんなすごろくのルールにする？
●カードを使う→解決策
●場面ごと　家庭→学校→地域
●登場人物　文京区の中高生

1-3　「なんでやねんカード」にする具体的な内容
「家庭」
●嫌いな習い事に無理やり行かされた
●兄弟でも比べられる
●家事などで自分の時間が取れない
●進路について勝手に決められる
●母にしか相談していなかったことを父にも話された

「地域」
●公園で花火や球技禁止
●公園を大人が占領している
●写真がSNSで拡散された
●性的マイノリティ、人種差別に対するからかい

「学校」
●意見を馬鹿にされた
●部活が廃部になった
●えこひいき
●課題が多すぎて予習ができない
●成績評価に差がありすぎる

2-1　どんな盤面にする？
●カード20枚程度
●木の幹から広がっていくイメージ

「啓発動画」についての意見交換

【ダイジェスト動画班】
1-1 普段「つい最後まで見ちゃう動画」の特徴って何だろう？
●ストーリー性とインパクトがある

2-1動画の絵コンテを作ってみよう
●導入　これから桃太郎が鬼退治しに行きます→犬のシーン→サルのシーン→キジのシーン→鬼を撃退→子どもの権利について
●「みんなが集まることでひとりではできないこともできるようになる！」

【小学生向け動画班】
1-1 普段「つい最後まで見ちゃう動画」の特徴って何だろう？
●小学生が好きそうなものを取り入れる
●対象が高学年に向いている
●ストーリー性がある
●有名な人、キャラクターとのコラボ
●歌、効果音(替え歌？)
●イラストはかわいい感じがいい

1-2 どんな動画にする？
●イラストのアフレコ
●ストーリー性がある

1-3 どんな主人公やキャラクターを登場させる？
●小学生
●スーパーヒーロー系(色別で権利の種類を分ける)
→それぞれ一人ずつ登場して最後に全員集合する

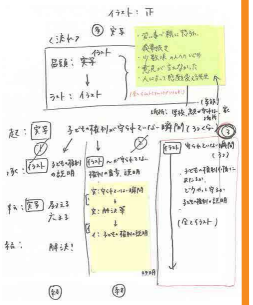
1-4 動画の中で「絶対にこれは使いたい！」というセリフやキーワードはある？
●それぞれの決め台詞

1-5 他に動画について「こうしたい！」があったら自由に
●進研ゼミの漫画みたいなイラストにしたい
●戦隊ものとプリキュアっぽいのを半々にする

2-1　動画の絵コンテを作ってみよう



【中高生・大人向け動画班】
1-1 普段「つい最後まで見ちゃう動画」の特徴って何だろう？
●内容がしっかり
●AI生成動画より手の込んだ動画
●冒頭に大きな見出し(お知らせ)
●キャッチーな始まり(キャラ・言葉・音楽)
●カメラワークが上手
●動きがある方が◎



1-2 どんな動画にする？
●絵本みたいな(物語)
●文字の横にイラスト(たてに流れる)
●イラストに私たちがアフレコ
(イラスト×アフレコの融合)
●親しみやすさ、手書き感
(キャラクターイラストタッチ左上)

1-3 どんな主人公やキャラクターを登場させる？
●キャラクタータッチ見本(左上)から
→フラット・シンプル・手書き

1-4 動画の中で「絶対にこれは使いたい！」
というセリフやキーワードはある？
●子どもたちの視点から(伝えたい！)
●「子ども(みんな)には権利があります！」
●問いかけ系「～知ってますか？」
「～守れてますか？」「～日常生活の中でどうでしょうか？」

⑤ 啓発ノベルティグッズ・啓発パンフレット



消しゴム、クリアファイルのデザイン

ノベルティグッズについての意見交換が積極的に行われた。
ノベルティグッズのデザインについてや、ノベルティに掲載される「キャッチコピー」、
「共感できる「モヤモヤ」や自分たちの意見で「変わったこと」」についても
各班で積極的な話し合いが行われた。

啓発ノベルティグッズについての意見

	すごろく班	ダイジェスト班	小学生班	中高生班
クリアファイル	C案	B案	A:イラストを使った説明で分かりやすい B:題名(プリントの)が見えていない C:クリアファイル、消しゴムともに一番可愛い、窓になっているデザインがいい 色んな色が使われている、普段にも使いやすい 大事な情報が最後の方にあって残りやすい	C案
消しゴム	A案 短文メッセージ	C案		C案
キャッチコピー	クリアファイル ⑦みんなで守ろう こどもの権利消しゴム ④1人1人にこどもの権利	④1人1人にこどもの権利 ⑥みんなが意見を言える社会	③をベースにする(小さく上に入れる) ↑おもしろさがあってインパクトあり なにが？となってしまうので、、、 プラスこどもの権利要素のある言葉を入れる ①知ろうみんなに広めよう、こどもの権利がよさそう(大きめなところに)例:知りましょうなど	④1人1人にこどもの権利 ⑦みんなで守ろうこどもの権利 ①知ろうみんなに広めよう こどもの権利
パンフレット	A案 タイトルを簡潔に カラフル	C案	C案 A:ありきたりな色使い、黄色が微妙→黄色はニュートラルな色がいい、情報が多い B:色が女の子っぽすぎて男子が興味を持ちづらそう、ハートなのは可愛い C:一番いい思う!!デザインが可愛い	A案イラスト増やす (可愛くする) 文字の色を統一
共感できる「モヤモヤ」や「変わったこと」	●校則を変えてほしい ●先生の依怙贔屓 ●自分の意見が言えない ●自分の時間がない ●やりたいことができない	●人によって態度を変える先生 ●少数派の人(クラスメイト)へのいじめ ●習い事で親に怒られ、食事抜き (細かい部分カットで分かりやすく!!)"	●先生によって成績のつけ方が違う ●他のクラスの平均は80なのに、自分のクラスは30 ●クラスで出た案を一つに絞るときに、周りの人と意見が違って、自分の意思を言えなかった ●人によって態度を変える先生	●人によって態度を変える先生 ●お昼ご飯がこれまではパンの自販機しかなかったが、生徒からの要望で業者からお弁当を仕入れてもらえるようになった

⑥ ノベルティ案

ノベルティグッズの作成にあたり、A案、B案、C案と3種類のデザインが提示された。
話し合いの結果、クリアファイルと消しゴムはC案のデザインで決定した。

	A案	B案	C案
パンフレット			
クリアファイル			
消しごむ			